



カメムシを食べるプロジェクトを発表する篠山鳳鳴高校の生徒たち＝丹波市柏原町柏原で

「カメムシ食べよう」

丹波の森若者塾 篠山鳳鳴生徒が発表

「丹波の森若者塾」合年本部主催が3日、丹波同フォーラム（丹波青少波の森公苑）であり、丹波

地域6高校の生徒が、地域課題の改善策を研究してきた成果を発表した。害虫を利益に変える研究をした篠山鳳鳴高校1年生（さん、さん、さん、さん）は、「カメムシを食べよう」と題し発表。駆除したカメムシがたくさん捨てられているのを見てもやもやしているところに、訪問したJICA（国際協力機構）でラオスの昆虫食文化を聞き、カメムシを資源化し、おいしく食べて世界に広めようと考えたとした。

今後の展望として▽おいしい調理方法を見つける▽効率的に捕獲できる捕虫機を作る▽カメムシが臭わない手軽な捕まえ方を開発するの3点を挙げた。

このほかの各校の発表テーマは次の通り。

- ▽柏原高校＝丹波地域在住外国人の交流・防災支援・柏原町内のユニバーサルツーリズム促進
- ▽氷上西高校＝関西大学佐治スタジオと連携して地域活性化に取り組む▽氷上高校＝さやひかり活用プロジェクト＝優位性確立を目指して▽篠山産業高校＝機械工学科と連携した商品開発▽篠山東雲高校＝農業を利用したまちなみの環境保全＝景観保全から動物の環境保全まで

2024年2月日

丹波新聞